働くということ～職場体験を通して～

８月３日～５日の３日間、２年生の職場体験を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、２年間は様々な職業の方を講師に招き、お話を伺う機会を持ち、キャリア教育が途切れてしまわぬよう、生徒にとって意義のあるものとなるように行ってきました。今年は、体験を通じて学ぶ機会を持ちたいという思いから、３年ぶりとなるため、改めて２年生職員を中心に、各事業所を訪問させていただき、１７４名の生徒を受け入れていただくことができるようになりました。各事業所の皆様や商工会議所の皆様、そしてＰＴＡ会長様にもお力添えいただき、幅広い職種への体験が可能となりました。

職場体験は、キャリア教育の一環として行ってきました。生徒にとって、生徒自身が直接働く人と接することにより、また、その職業に求められる知識や技術・技能に触れることにより、働くことの大切さや責任感、人を大切に思う心、社会人としての礼儀やマナーを学ぶ機会となります。そして、自分の持ち味に気づいたり、進路選択は自分の意志で決定するという意欲などを培ったりすることにもつなげていきたいと考えています。

また、職場体験を通して、生活や社会を支えている職業が地域に存在していることを改めて発見することができ、地元への愛着や誇りをもつきっかけにつなげていきたいとも考えています。それだけでなく、家庭では、職業についての会話を通して、働くことの尊さや感謝の心をもつ機会にしていただいたり、地域では、中学生の姿を身近に見ていただき、子どもたちを地域で育てるという機運につなげていただいたりするなど、職場体験には大きな期待が寄せられています。

２年生の生徒一人一人が、令和５年度には進路選択と向き合うこととなります。その時に、今年の職場体験の経験を振り返りながら、自分が将来、どのような場で自分自身の持ち味を生かしていくのかということを考えられるように成長していってくれることを願っています。

新型コロナウイルス感染症が収束していない中、各事業所の皆様には、感染症対策や熱中症対策等も含め、様々配慮いただきながら一人一人の生徒のために、貴重な体験の場をご提供いただきましたことに、感謝を申し上げます。